

第 6505 号	 リーダスクラブ	1994年1月6日創刊・毎日発行
		リーダスクラブFAXニュース (2020年)令和2年 8月 21日 金曜日

発行所	三輪厚二税理士事務所 / 顧問料不要の三輪会計事務所 (編集・発行: 税理士 三輪厚二) 大阪市中央区備後町 2-4-6 TEL: 06-6209-7191 WEB: https://www.zeirishi-miwa.co.jp
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

♠ 文書回答手続

Q : 税務上の個別取引でわからないことがある場合は、どうしたらいいですか？

A : 文書回答手続という照会サービスがあります。

【解説】

国税庁では、納税者の個別取引等に係る税務上の取扱いについて照会があった場合は、文書にて回答するサービスを実施しています。

このサービスは文書回答手続といい、照会及び回答内容は、同様の取引等を行う他の納税者の予測可能性を高めるために、国税庁のホームページで公表されます。

①照会対象

国税に係る申告期限前(源泉徴収等は納期限前)の照会が対象になります。また、実際に行われた取引等に関する照会のほか、将来行う予定の取引等に関する照会で個別具体的な資料の提出が可能なものは対象になります。ただし、次のものは対象になりません。

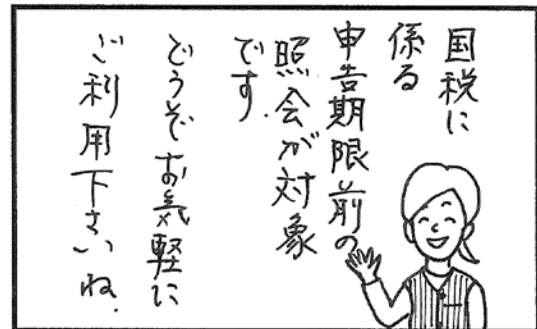
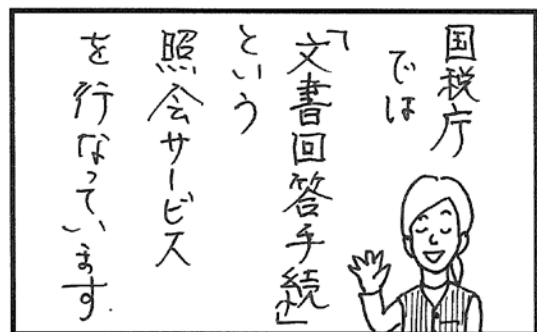
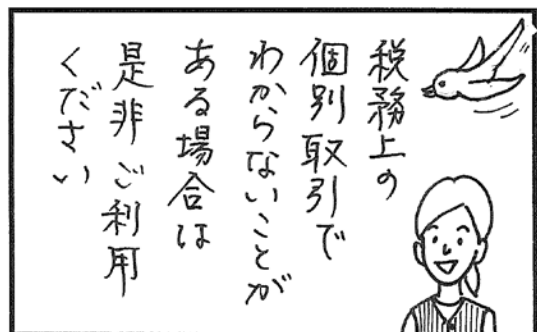
イ. 照会の前提とする事実関係について選択肢があるもの

ロ. 調査等の手続、徴収等の手続、種類行政に関係するもの

ハ. 個々の財産の評価や取引等価額の算定・妥当性の判断に関するもの

ニ. 取引等の主要な目的が国税の軽減等であるものや通常の経済取引等としては不合理であると認められるもの

ホ. 実地確認や関係者への照会等による事実関係の認定を要するものなど



【三輪厚二税理士事務所(大阪市中央区)】